

Matrix Maker for KB12U/KB16U

キー割当て設定ソフト説明書

Product Model	Matrix Maker for KB12U/16U Version:KB12U/KB16U
Support OS	Windows 9x Windows Me Windows 2000 Windows Vista Windows 7(32bit/64bit) Windows 8(32bit/64bit) Windows 8.1(32bit/64bit) Windows 10(32bit/64bit)

変更履歴

版	日付	担当者	更新内容
0001-01	2016/05/13	Y. N.	初版
0001-02	2017/11/13	Y. N.	割り当てキーを変更 256 → 180
0001-03	2018/01/16	Y. N.	2倍キーの記述を修正

目次

I. はじめに	- 3 -
II. インストールとアンインストール	- 3 -
II-1. インストールの準備	- 3 -
II-2. インストール	- 3 -
II-3. アンインストール	- 7 -
III. キーボード設定画面（例：KB12U）	- 9 -
III-1. 設定ソフトの起動	- 9 -
III-2. キー割当て設定設定画面	- 11 -
III-3. キーボード キー割当て設定	- 12 -
IV. その他の設定機能	- 17 -
IV-1. ASCII Code	- 17 -
IV-2. Layer Index	- 18 -
IV-3. Keyboard Setting	- 23 -
IV-4. Enter Test Mode	- 24 -
V. 設定画面詳細	- 25 -
V-1. 設定画面メニューバー	- 25 -
V-2. Key Code画面	- 26 -
VI. 補足事項・よくある質問	- 28 -
VII. 保証事項	- 30 -
VII-1. 保証期間	- 30 -
VII-2. 保証対象	- 30 -
VII-3. 有償保証	- 30 -
VII-4. 仕様変更	- 30 -

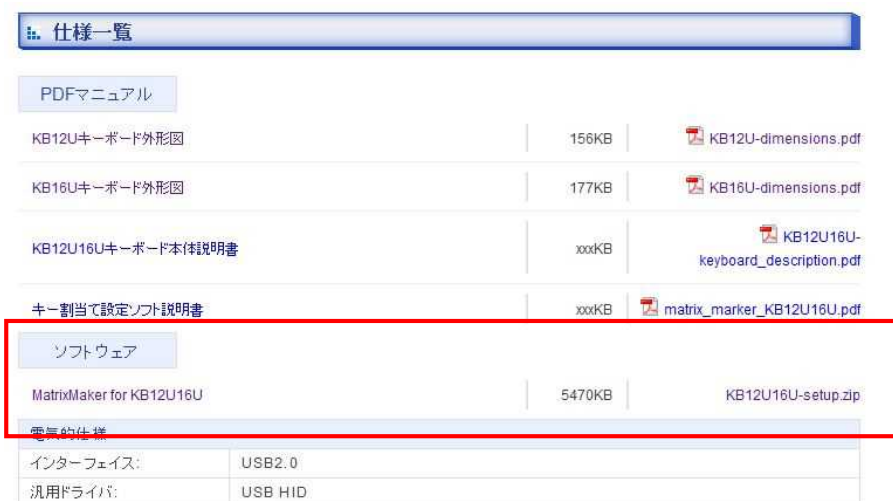
I. はじめに

本説明書はプログラマブルキーボード KB12U/KB16U のキー割当て等の設定を行なう専用ソフトウェア Matrix Maker for KB12U/KB16U の設定や操作の説明を記載しています。

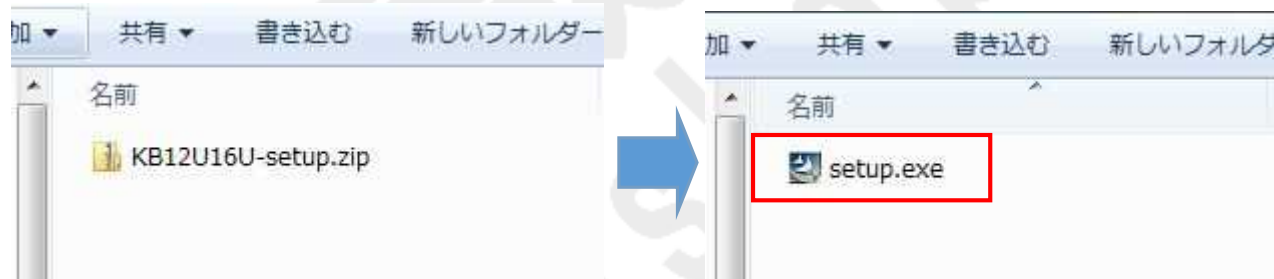
II. インストールとアンインストール

II-1. インストールの準備

1. 弊社ホームページにて、MatrixMaker for KB12U16U をダウンロードしてください。



2. ダウンロードしたファイルを解凍して、[setup.exe]を実行してください。

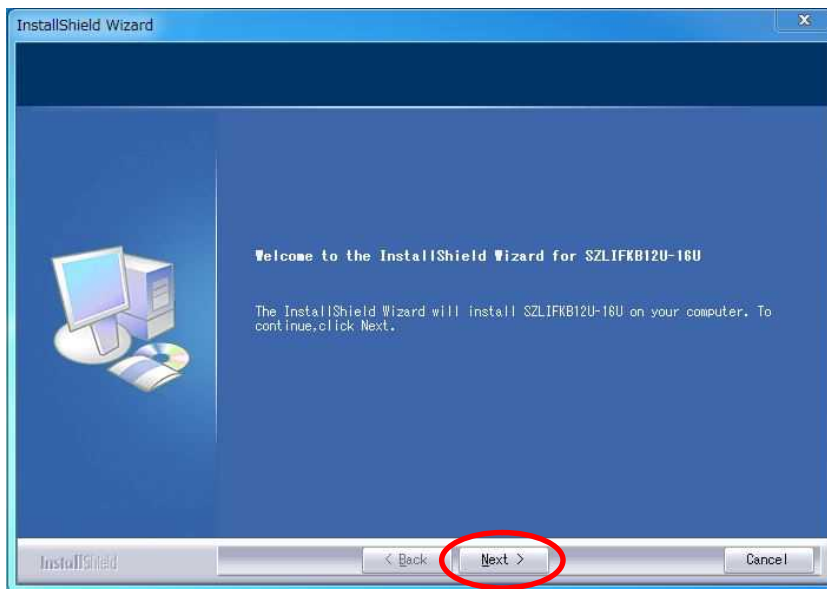


II-2. インストール

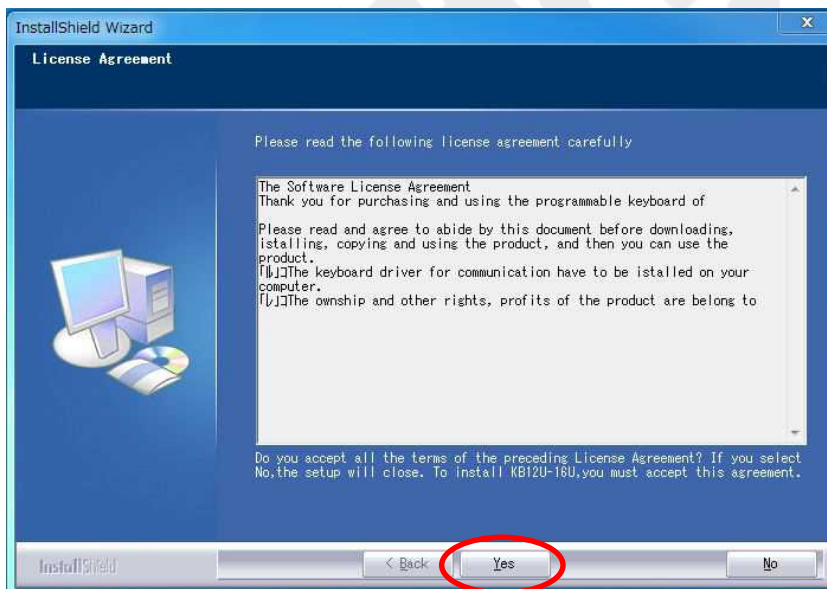
1. [setup.exe]を実行すると、InstallShield Wizard 起動の画面が表示されます。



2. InstallShield Wizard 画面が表示されます。
"Next >"をクリックして下さい。

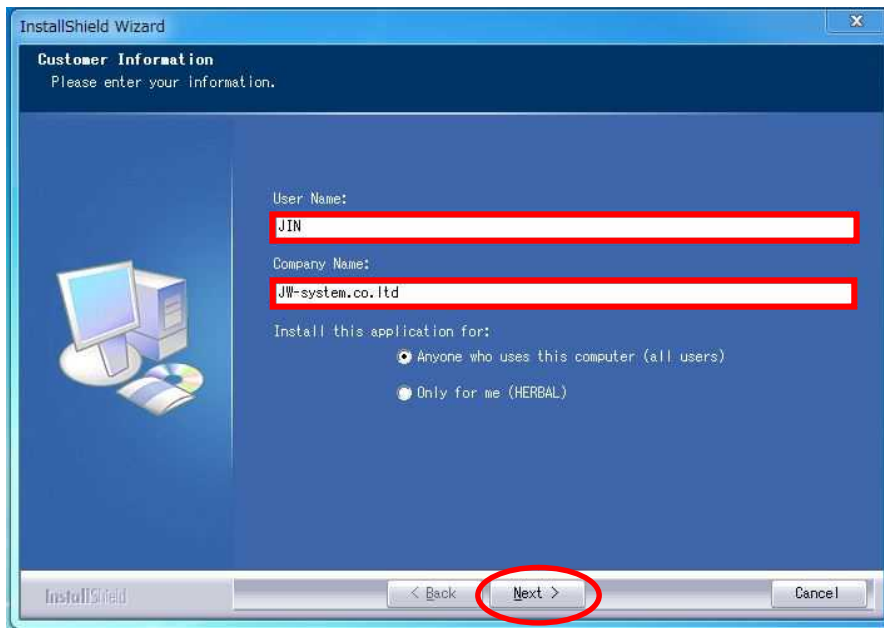


3. License Agreement 画面が表示されます。
"Yes"をクリックして下さい。



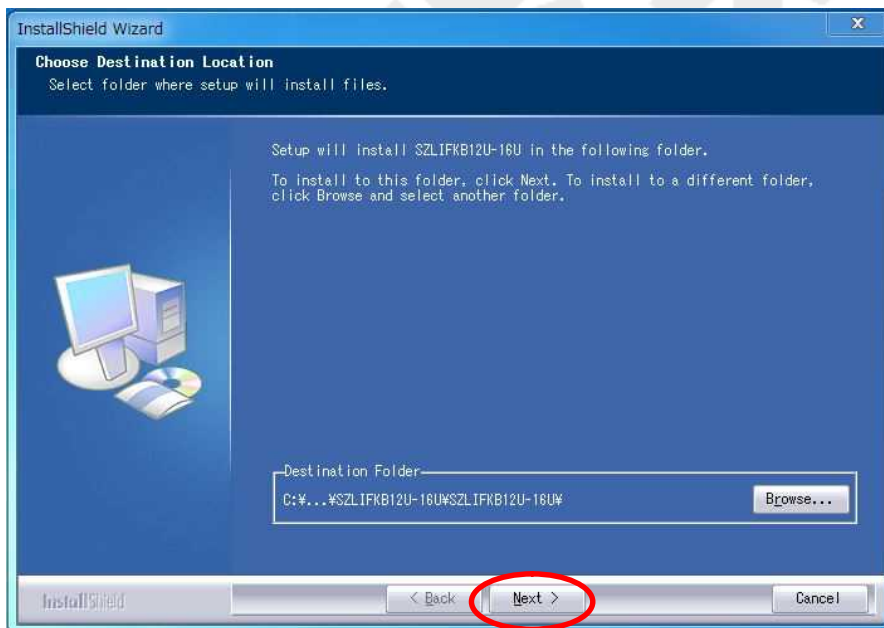
4. Customer Information 画面が表示されます。

<User Name>と<Company Name>を任意で入力し、“Next >”をクリックして下さい。



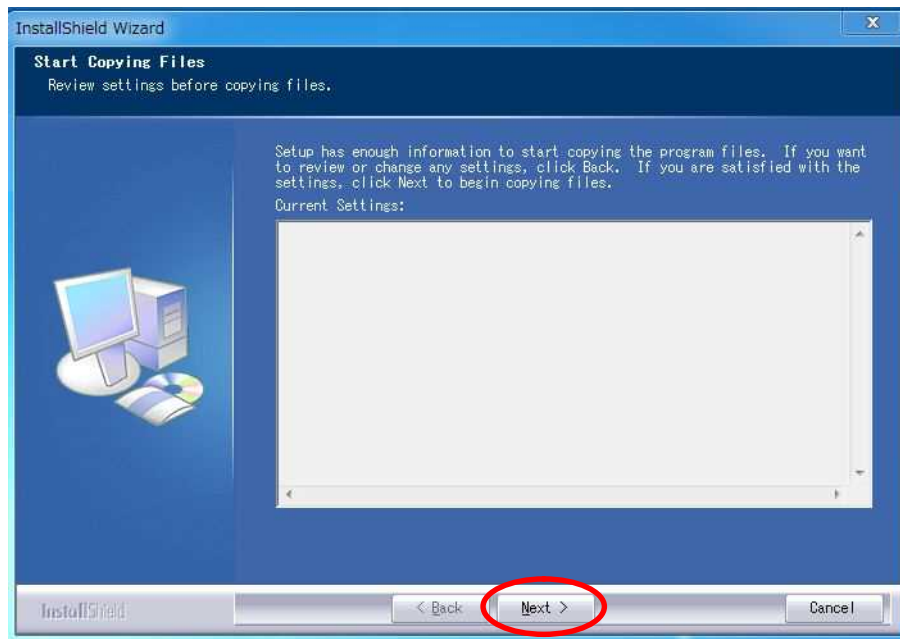
5. Choose Destination Location 画面が表示されます。

インストール先ディレクトリを任意に指定し“Next >”をクリックして下さい。

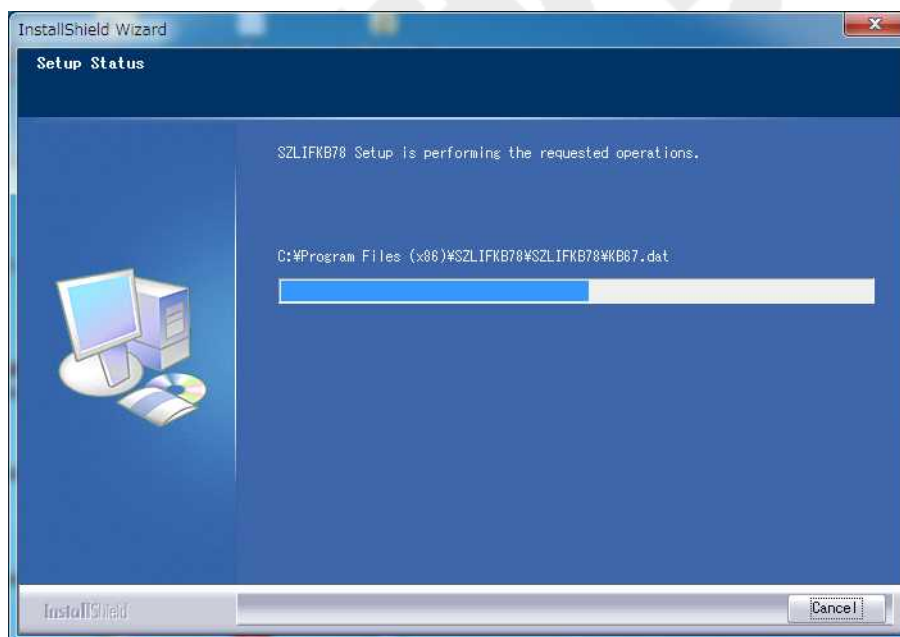


6. Start Copying Files 画面が表示されます。

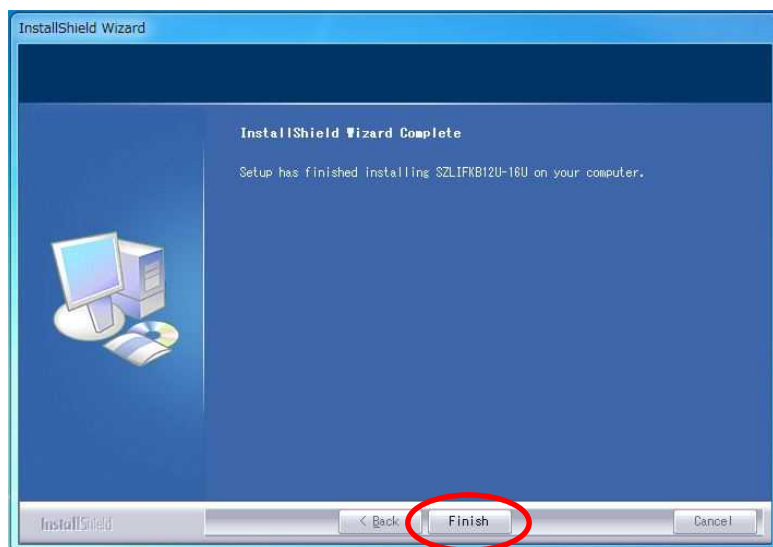
“Next >” をクリックして下さい。



7. インストール処理の進行画面が表示されます。

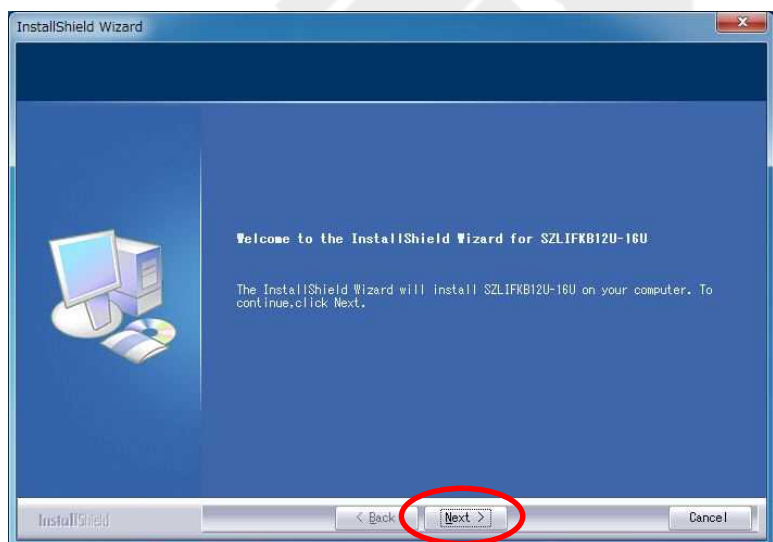


8. InstallShield Wizard Complete 画面が表示されます。
"Finish"をクリックして、インストールは完了です。

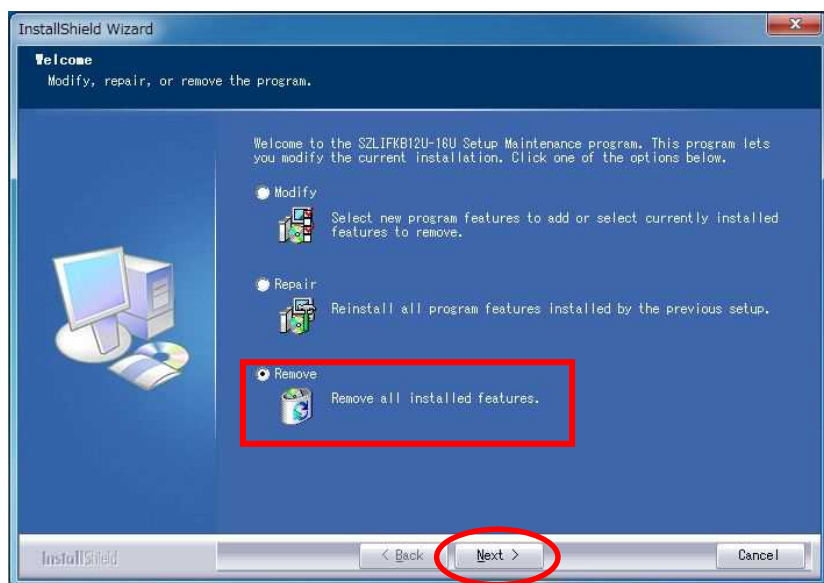


II -3. アンインストール

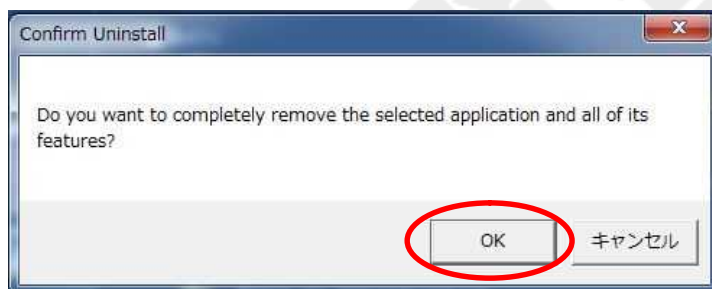
1. [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [KB12U-KB16U] > [UNINSTALL]をクリックすると、InstallShield Wizard 画面が表示されます。
"Next >"をクリックして下さい。



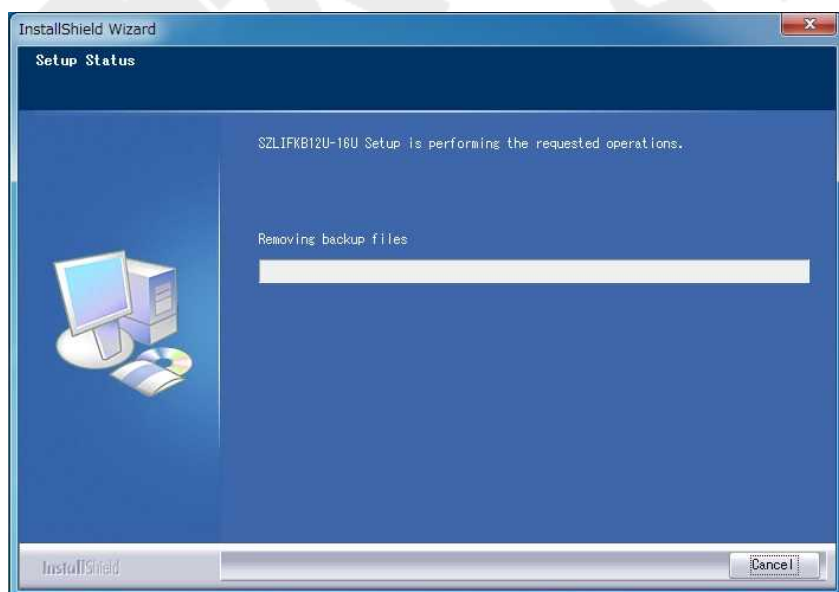
2. InstallShield Wizard 画面が表示されます。
<Remove> を選択して"Next"をクリックして下さい。



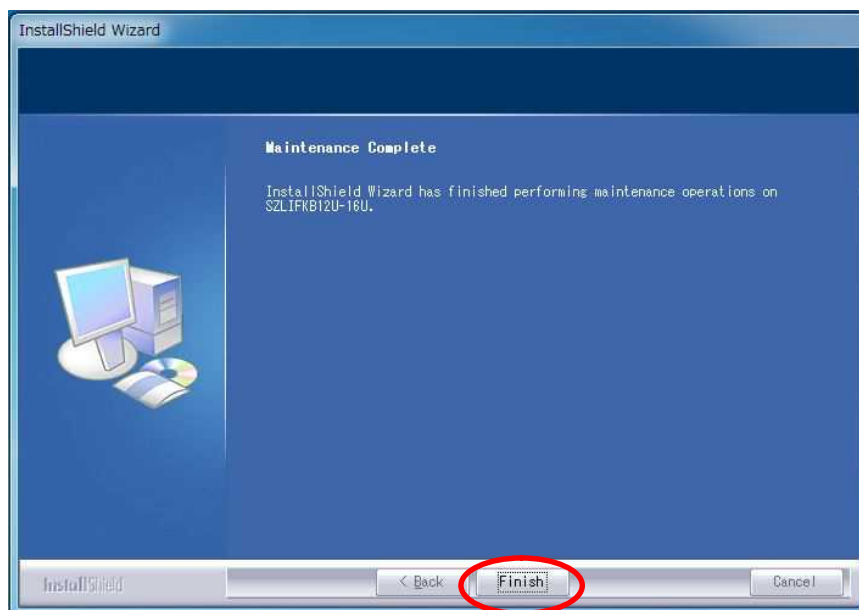
3. Confirm Uninstall 画面が表示されます。
"OK"をクリックして下さい。



4. アンインストール処理の進行画面が表示されます。



5. Maintenance Complete 画面が表示されます。
"Finish"をクリックして、アンインストールは完了です。

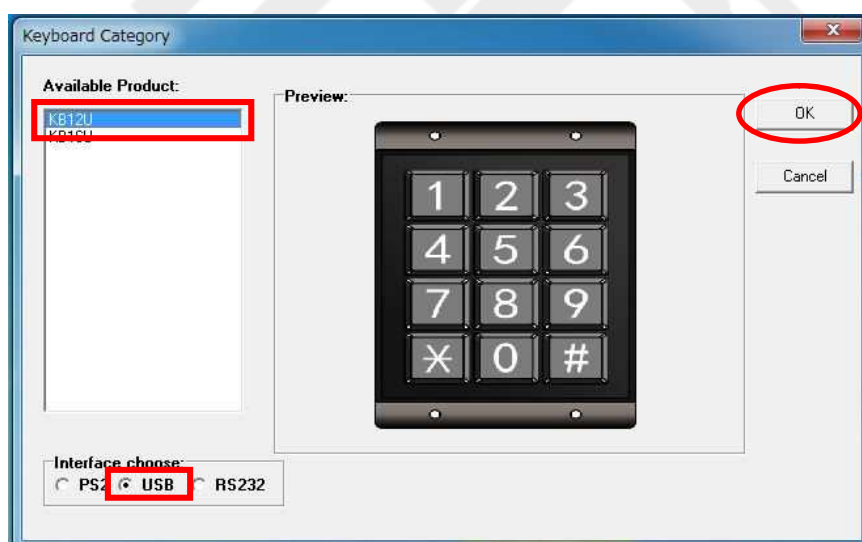


Ⅲ. キーボード設定画面 (例: KB12U)

Ⅲ-1. 設定ソフトの起動

1. [スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [KB12U-KB16U] > [KB12U16U]をクリックすると Keyboard Category 画面が表示されます。

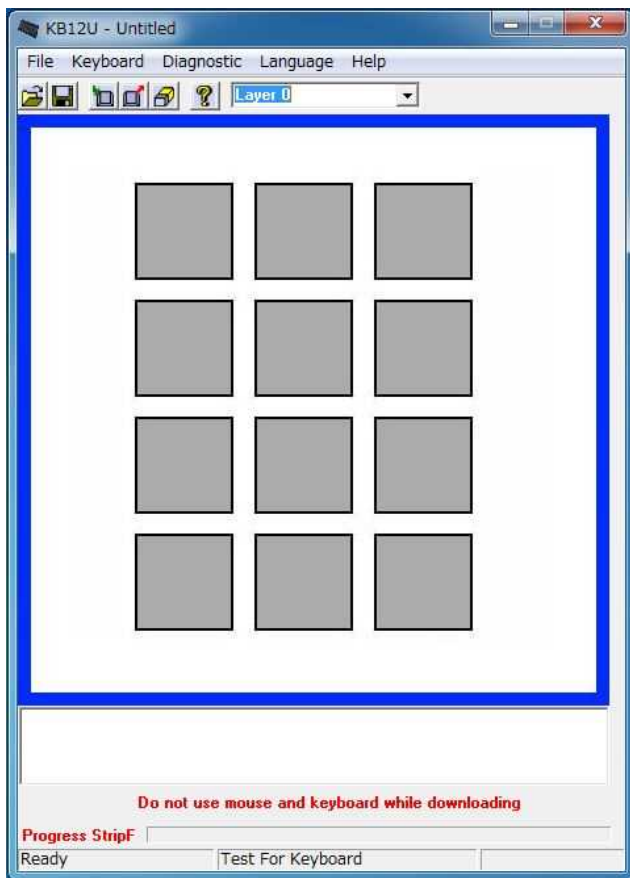
Interface choose 項目にて<USB>を選択し、Available Product 項目にてご使用されるキーボードを選択して、"OK"をクリックして下さい。



!注意!

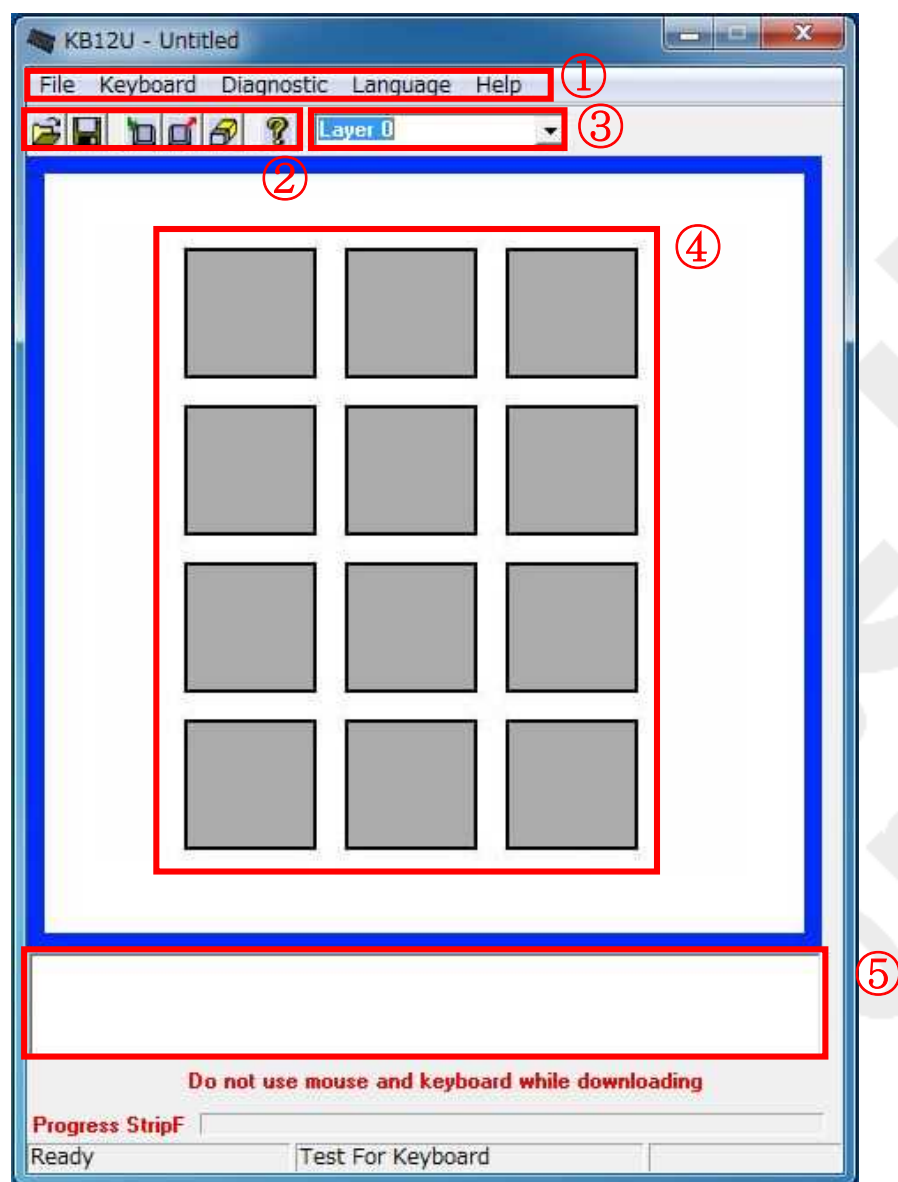
指定したキーボードが PC に接続されていない場合は、Can't find The USBHID keyboard!画面が表示されます。設定ソフトを起動する場合は“いいえ(N)”を、起動しない場合は“はい(Y)”をクリックして下さい。

2. KB12U - Untitled画面が表示されます。。



Ⅲ-2.キー割当て設定設定画面

設定画面の概要は以下のとおりです。



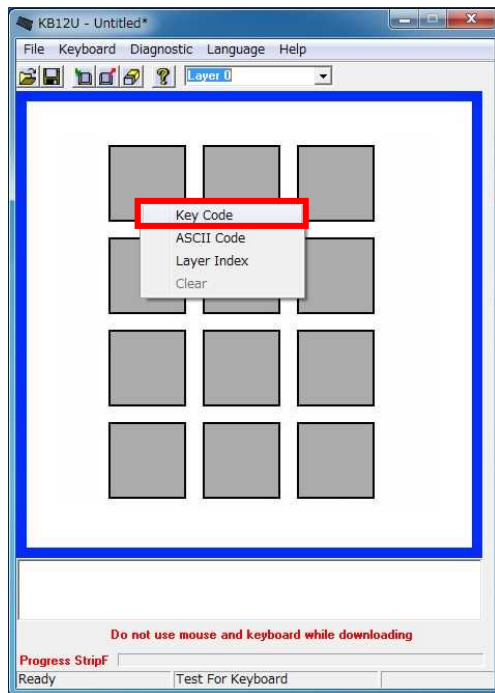
① メニューバー	ファイル (File)、キーボード設定 (Keyboard) 等の基本メニューです。
② アイコン	メニューバーから頻繁に使われる機能をアイコンで操作できます。
③ レイヤーセレクト	キー割当て設定を行なうレイヤー0 (デフォルト) ~ レイヤー15 を選択します。
④ キーボード割当てキー	キーボード上でキー割当て設定を行なうキーです。
⑤ キー割当て内容表示	マウスポインタをキー上に持ってくるとキーに割当てられた内容が赤文字で表示されます。

①メニューバーと②アイコンの詳細に関しては [V. 設定画面詳細](#) も参照下さい。

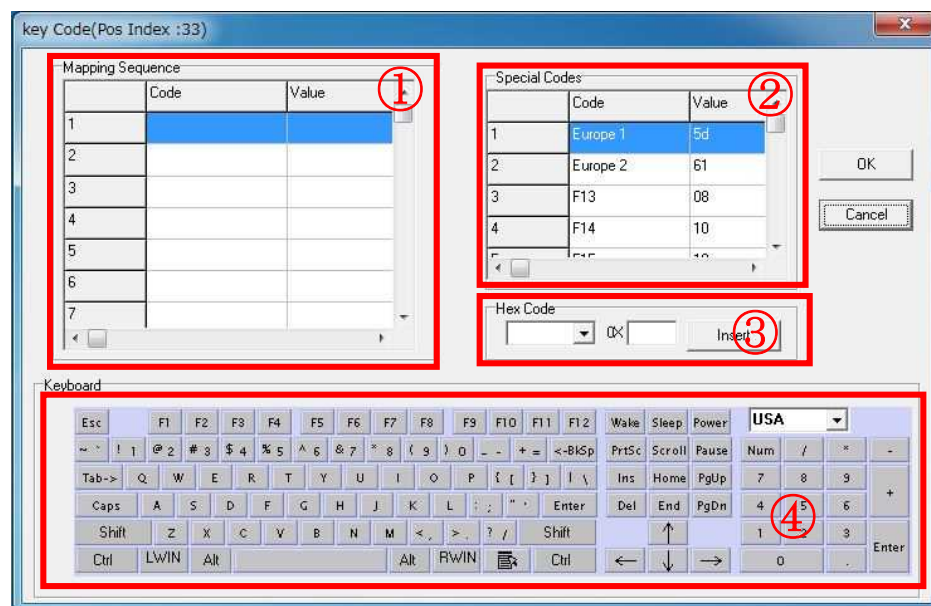
Ⅲ-3. キーボード キー割当て設定

1. 割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されます。

<Key Code>をクリックして下さい。



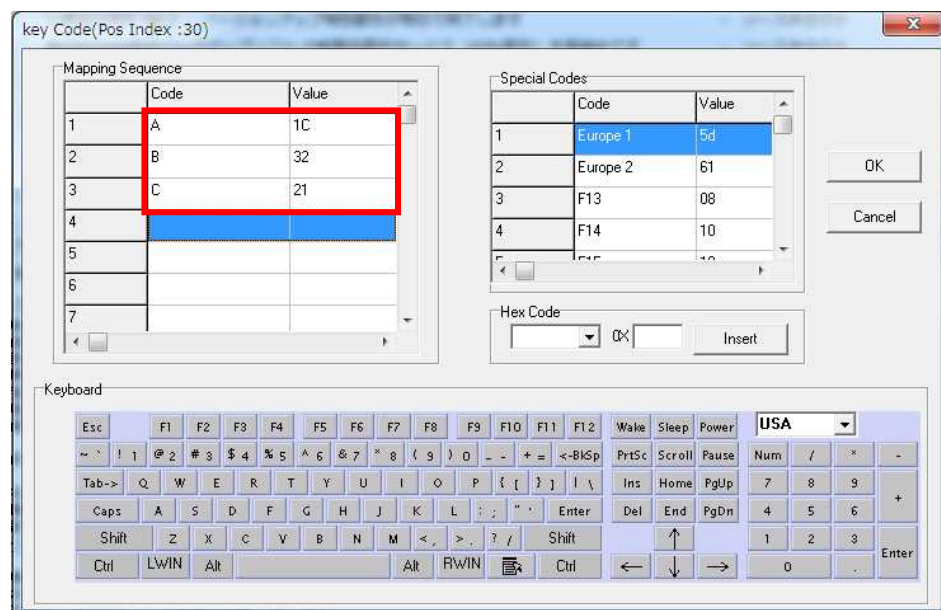
2. Key Code 画面が表示されます。画面概要は以下のとおりです。



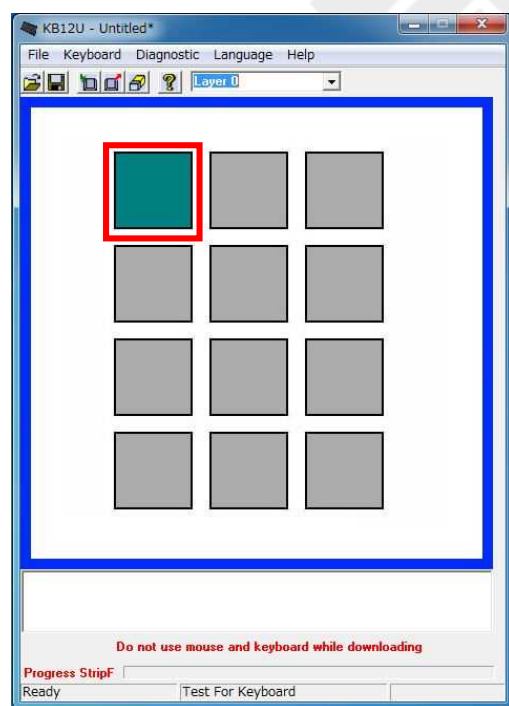
① Mapping Sequence	割当てしたキーコード値 (Value) が割当てた順に 1 から表示されます。最大 180 値まで登録できます。割当てするキー種類にもよりますが 1 キーあたり約 180 キー程のキー登録が可能です。
② Special Code	ソフトウェアキーボード上にないキーをこちらより登録できます。日本語配列キーボード特有のキー“¥”キーや“ろ”キーなどは Special Code から登録をします。(※1)
③ Hex Code	キーコードを 16 進数で直接入力して割当てキーとして登録できます。
④ Keyboard	英語 104 キー配列のソフトウェアキーボードです。割当てキーをクリックして登録します。日本語 109 キー配列はありませんので Special Code 欄より選択します。

※1 “[V-2. Key Code画面](#)”も参考下さい。

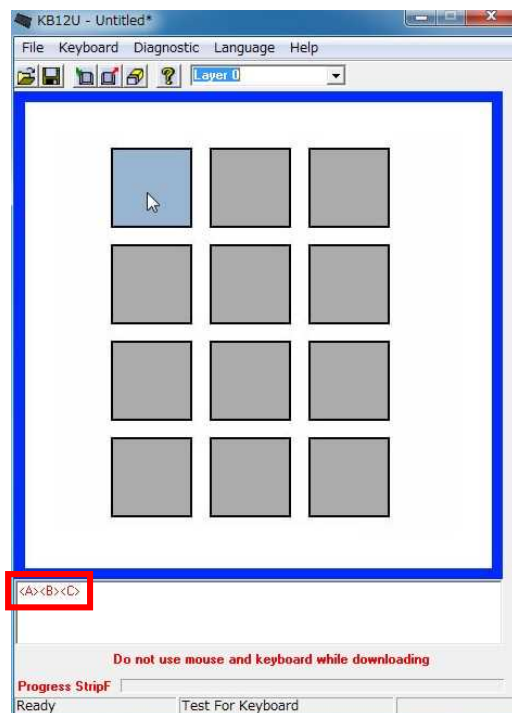
3. 例としてキーに ABC の 3つのキーを割当てます。
ソフトウェアキーボードの”A”, ”B”, ”C”の順にクリック選択すると、<Mapping Sequence>にクリック選択した順に key Codeが表示されます。割当てを完了したら”OK”をクリックします。




4. キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。

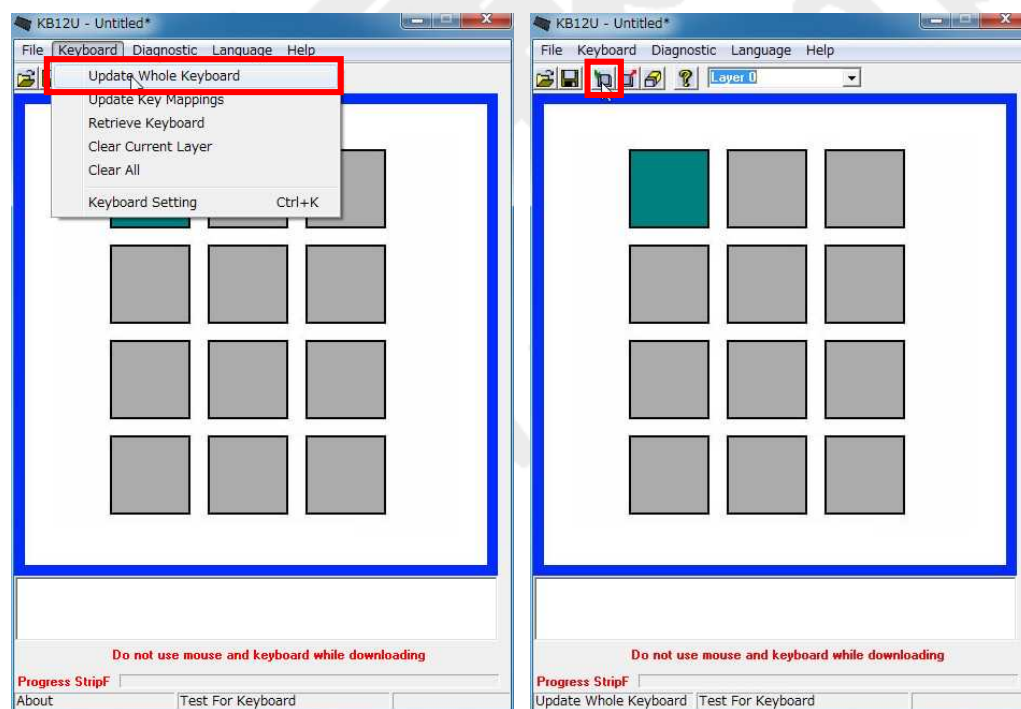


5. カーソルを上を持ってくると画面下側に割当てたキー”<A><C>”が赤文字で表示されます。

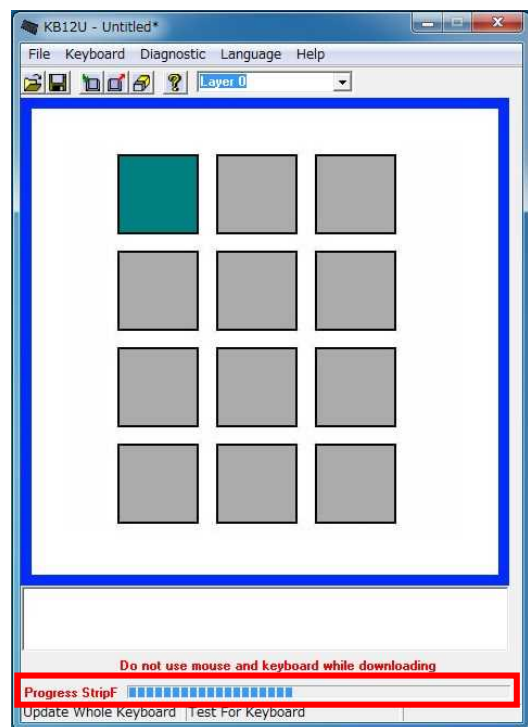


6. キーボードの設定を書き込みます。

[Keyboard] > [Update Whole keyboard]をクリック、もしくは  アイコンをクリックして下さい。



7. Update Whole keyboard 選択後、キーボード書き込み進行状況が表示されます。

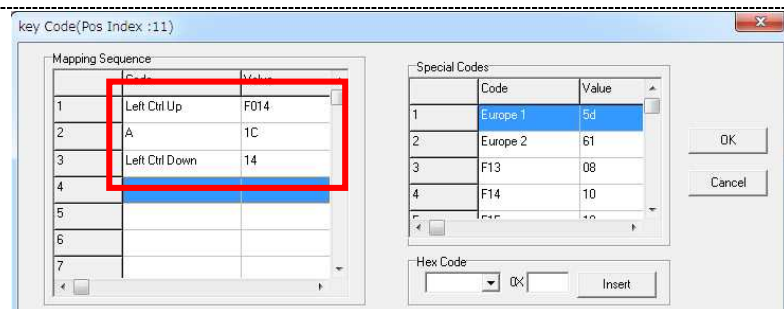


8. 書き込みを終えると Update Whole keyboard successful ダイアログが表示されます。
"OK"をクリックして、キーボードへの書き込みは完了です。



9. メモ帳等を開いて、設定したキーを1度押すと"ABC"が出てきます。設定したキーが割当てられているのが確認できます。



!注意!

Shift、Alt、Ctrl キーは通常のキーボードと異なります。これらのキーはキー押下“Down”とキー放し“Up”の2つのステータス設定が必要となります。ソフトウェアキーボードでこれらのキーを1度クリックすると“Down”、もう1度クリックすると“Up”が値として表示されます。“Shift、Alt、Ctrl キーは Down ステータスのままにせず、必ず Up ステータスを設定して閉じて下さい。”

例えばウィンドウズショートカットキー「すべて選択」(Ctrl+A)を登録する場合以下のようになります。

左 Ctrl をクリック (Left Ctrl UP) -> A をクリック (A) -> 再度 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)

IV. その他の設定機能

IV-1. ASCII Code

割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると ASCII Code メニューが表示されます。ASCII コードで出力する文字をキーに割当てることができます。約 180 文字の ASCII コード文字を 1 キーに割当てることができます。(※日本語は不可。) 設定を完了し、キーを押すと登録した文字列が出力されます。



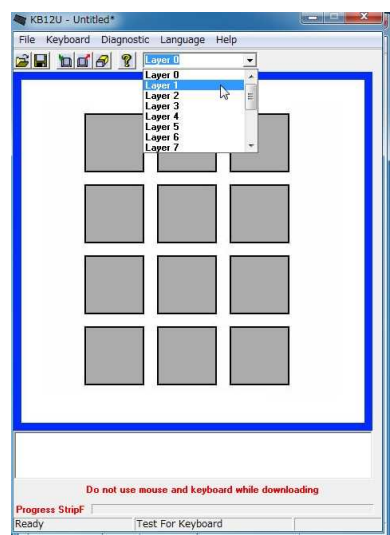
下記の4種の記号も以下の表記により割当てることができます。

Symbol (記号)	Representation (表記)
Enter	\ n または \ N
Esc	\ e または \ E
Tab	\ t または \ T
\	\ \

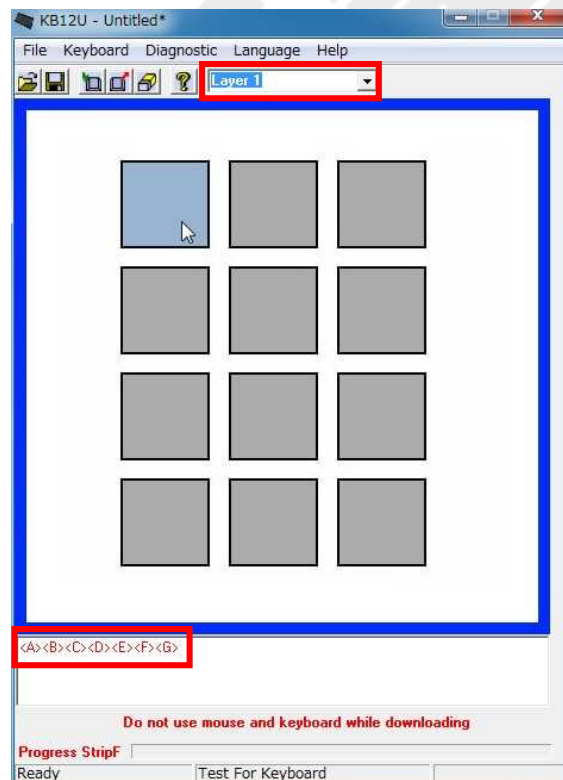
IV -2. Layer Index

キーボードはレイヤー（層）を設けて、同じキーへレイヤー毎に異なる出力コードの割当てができます。レイヤーは 0-15 までの合計 16 レイヤーあります。（※Soft Layer は使用しません。）

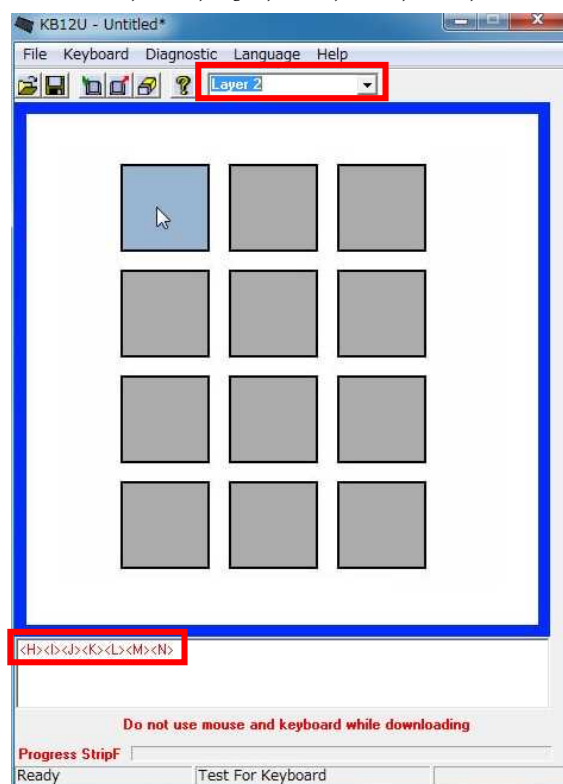
割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると<Layer Index メニュー>が表示されます。[Layer Code]画面の<Select one of the layers>よりレイヤーを選択し、レイヤー切替を行なうキー割当てを行ないます。標準のレイヤーは<Layer0>です。Layer Index キーはキーを押している間のみレイヤーが切り替わります。



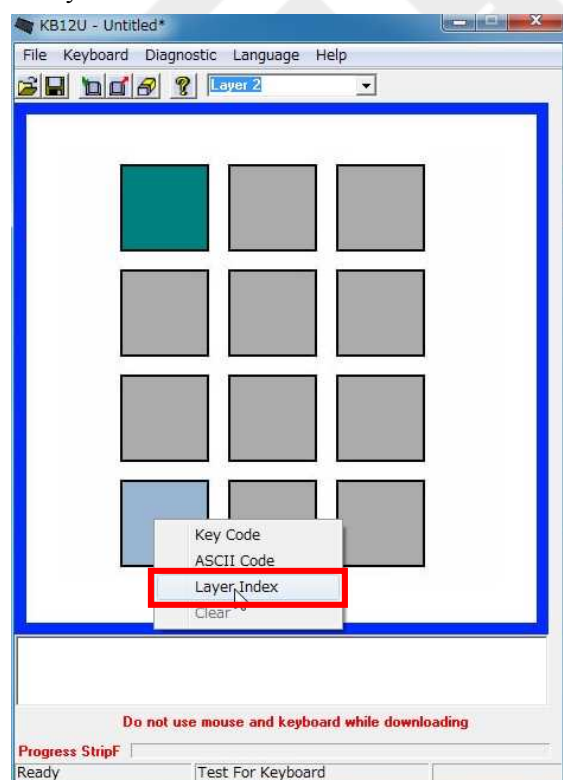
1. 例として、キーロックにレイヤーを割当てます。まず、<Layer 1>のキーに Key Code キー” A” ,” B” ,” C” ,” E” ,” F” ,” G” を割当てます。



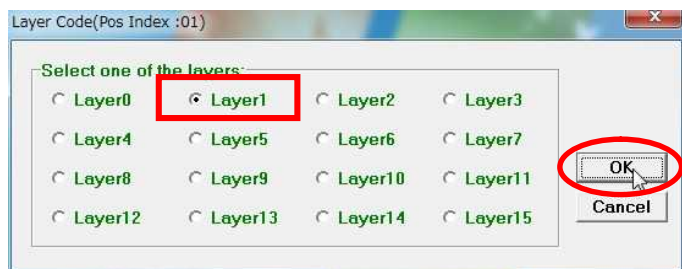
2. <Layer 2>に<Layer 1>に設定した同じキー位置に Key Code キー ” H ” , ” I ” , ” J ” , ” K ” , ” L ” , ” M ” を割当てます。
<Layer 1>に<A>,,<C>,<E>,<F>,<G>が割当てられ、<Layer 2>に ” <H>,<I>,<J>,<K>,<L>,<M>,<N> ” が割当てられたことが分かります。



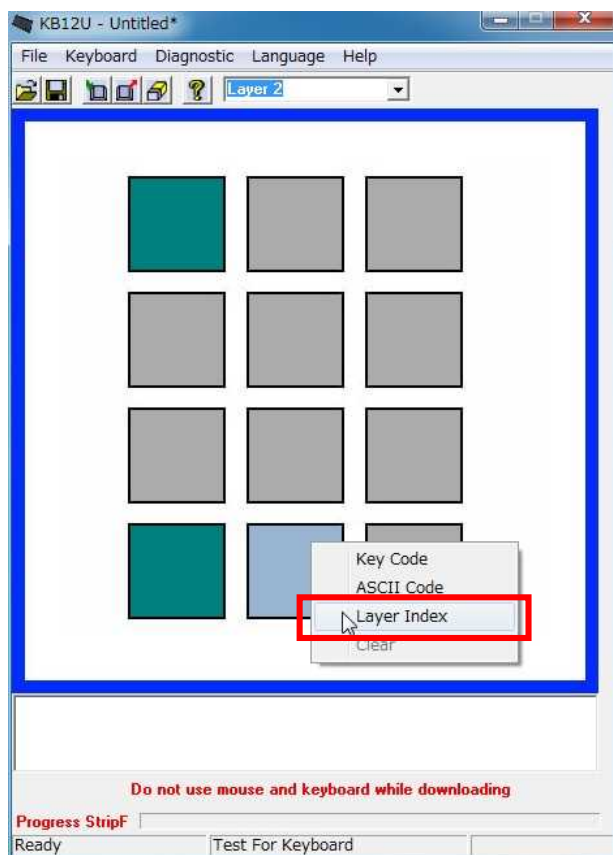
3. 左下キーの上にカーソルを移動させ、左クリックをするとメニューが表示されるので <Layer Index> を選択します。



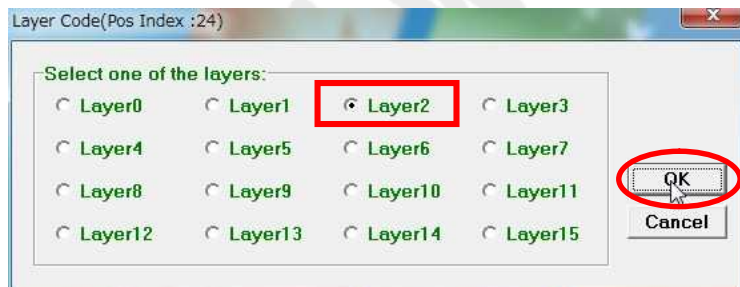
4. Layer Code 画面が表示されます。<Layer1>を選択し、“OK”をクリックします。



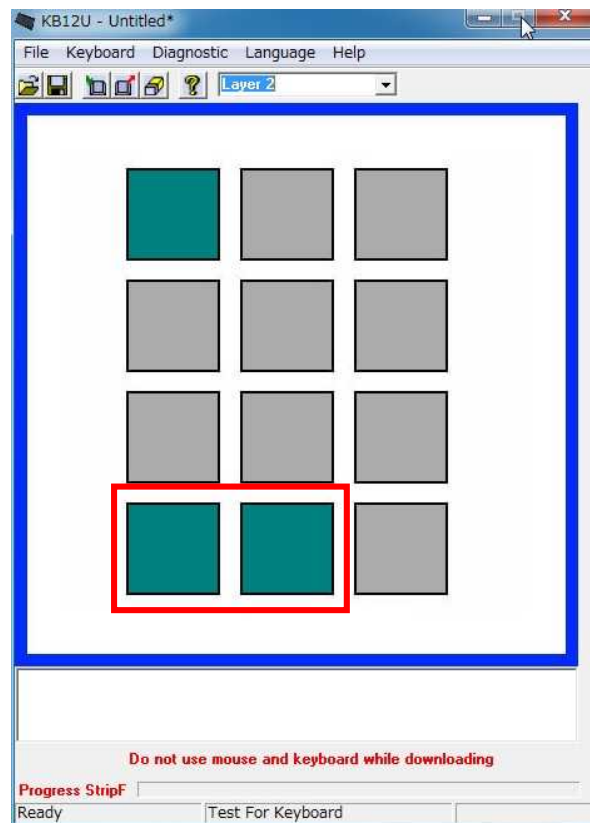
5. 真ん中下キーの上にカーソルを移動させ、左クリックをするとメニューが表示されるので<Layer Index>を選択します。



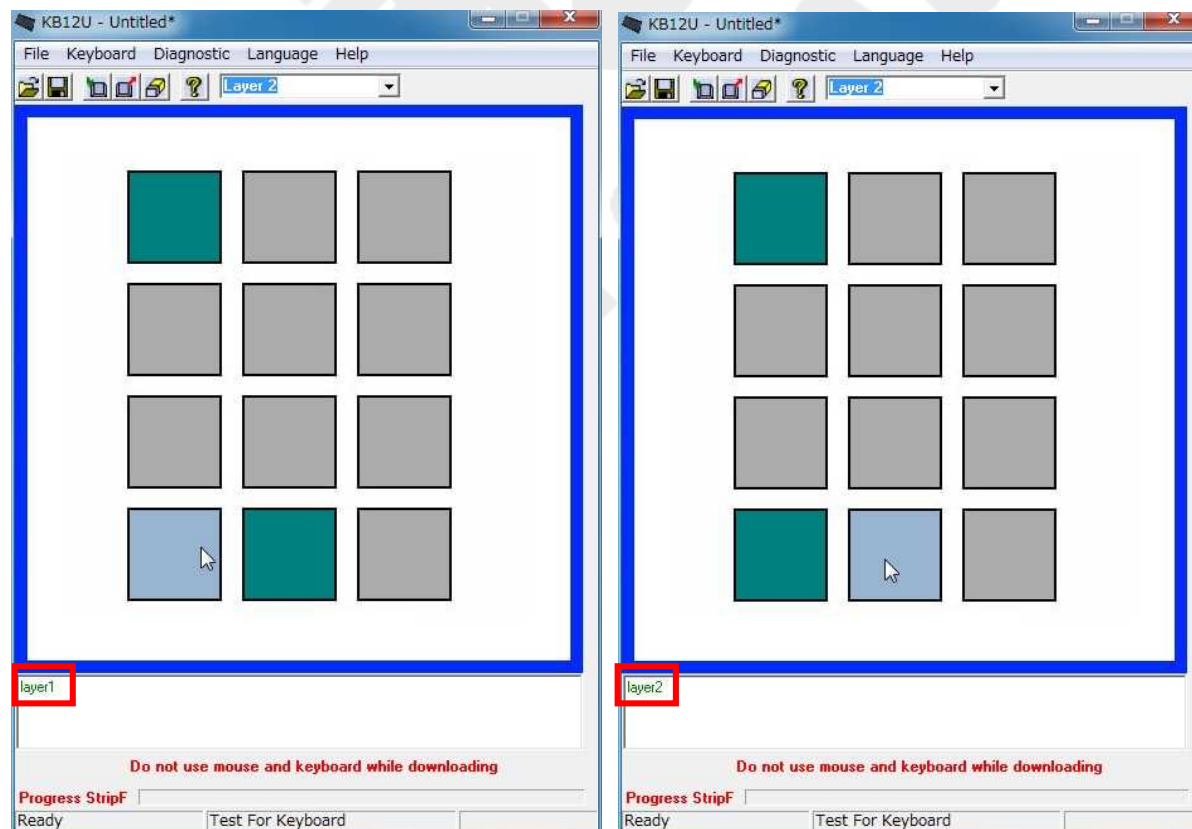
6. Layer Code 画面が表示されます。“Layer2”を選択し、“OK”をクリックします。




7. キー割当てを行なった左下キーと真ん中下キーの色が深緑色になります。

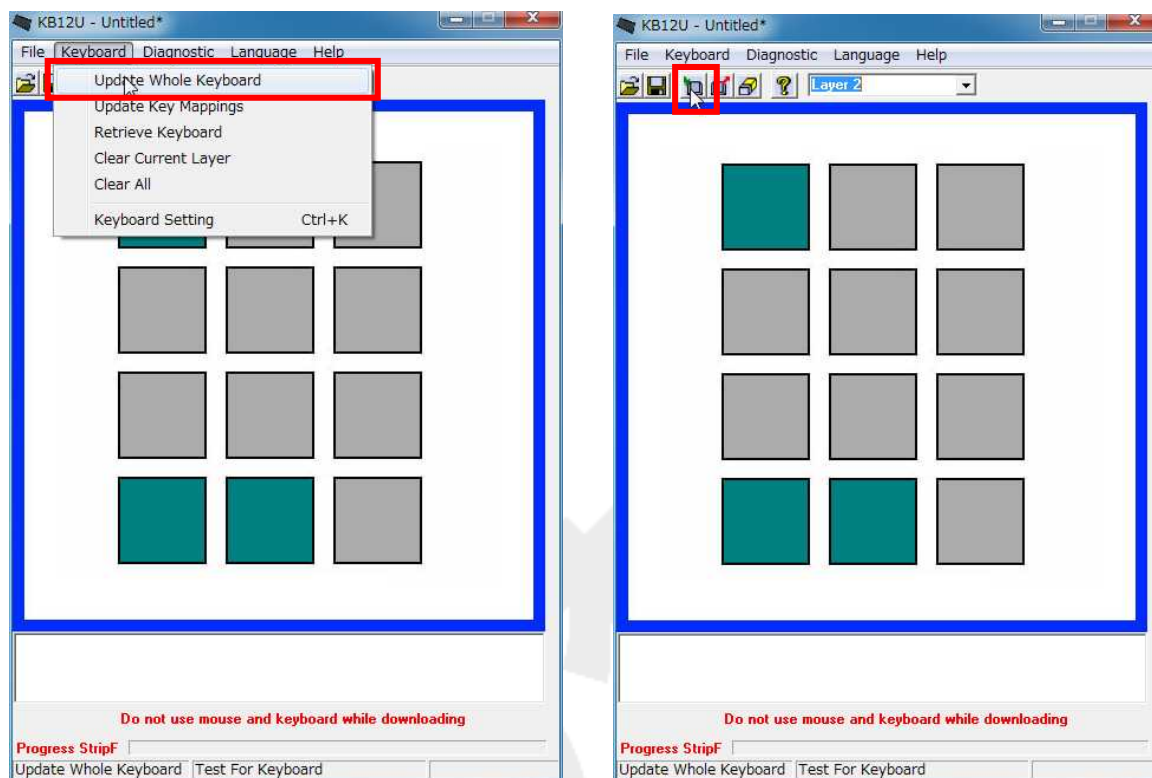


8. カーソルを上を持ってくると、画面下側に緑文字で設定した layer が表示されます。左下キーの場合は<layer1>が、真ん中下キーの場合は<layer2>が表示されます。

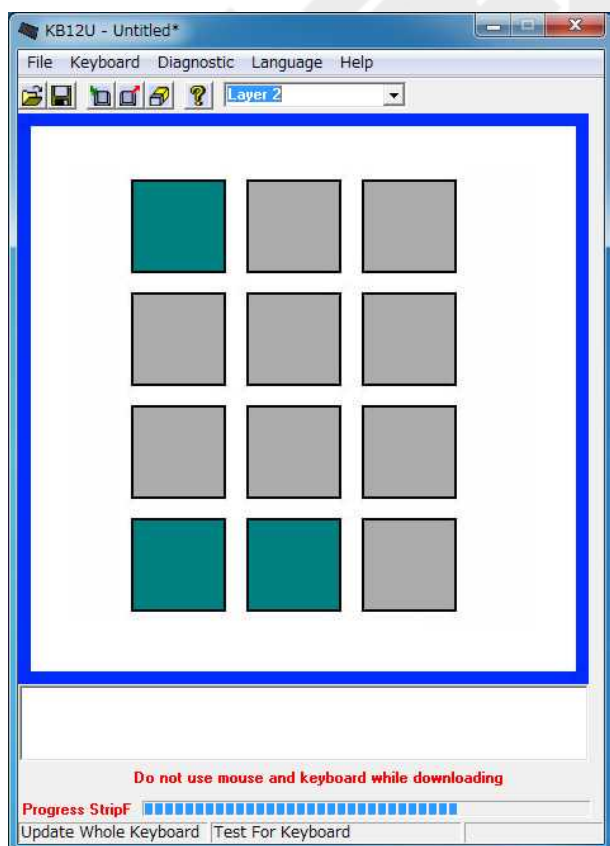


9. キーボードの設定を書き込みます。

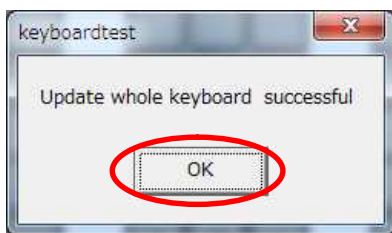
[Keyboard] > [Update Whole keyboard]をクリック、もしくは  アイコンをクリックして下さい。



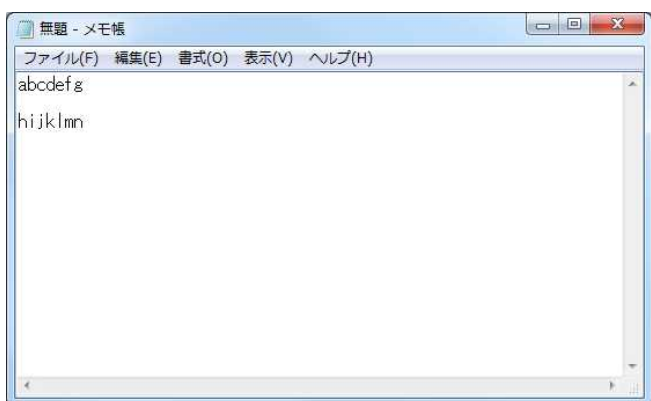
10. Update Whole keyboard 選択後、キーボード書き込み進行状況が表示されます。



11. 書き込みを終えると Update Whole keyboard successful ダイアログが表示されます。“OK”をクリックして、キーボードへの書き込みは完了です。

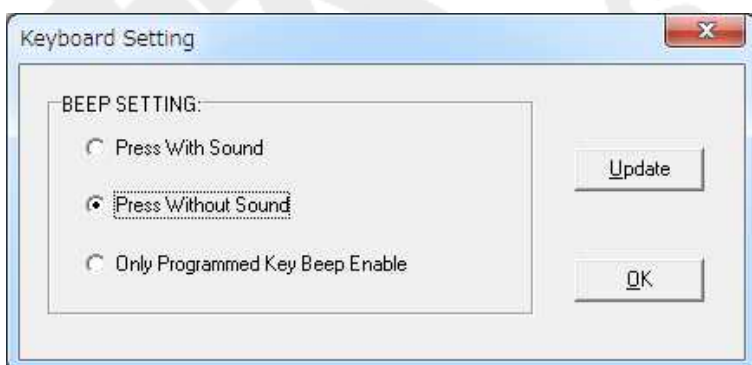


12. メモ帳等を開いて、左下キーを押下した状態で、設定キーを押下すると” abcdefg”が入力されます。また、真ん中下キーを押下した状態で、設定キーを押下すると” hhijklmn”が入力されます。以上で、設定したレイヤーキーが割当てられているのが確認できます。



IV-3. Keyboard Setting

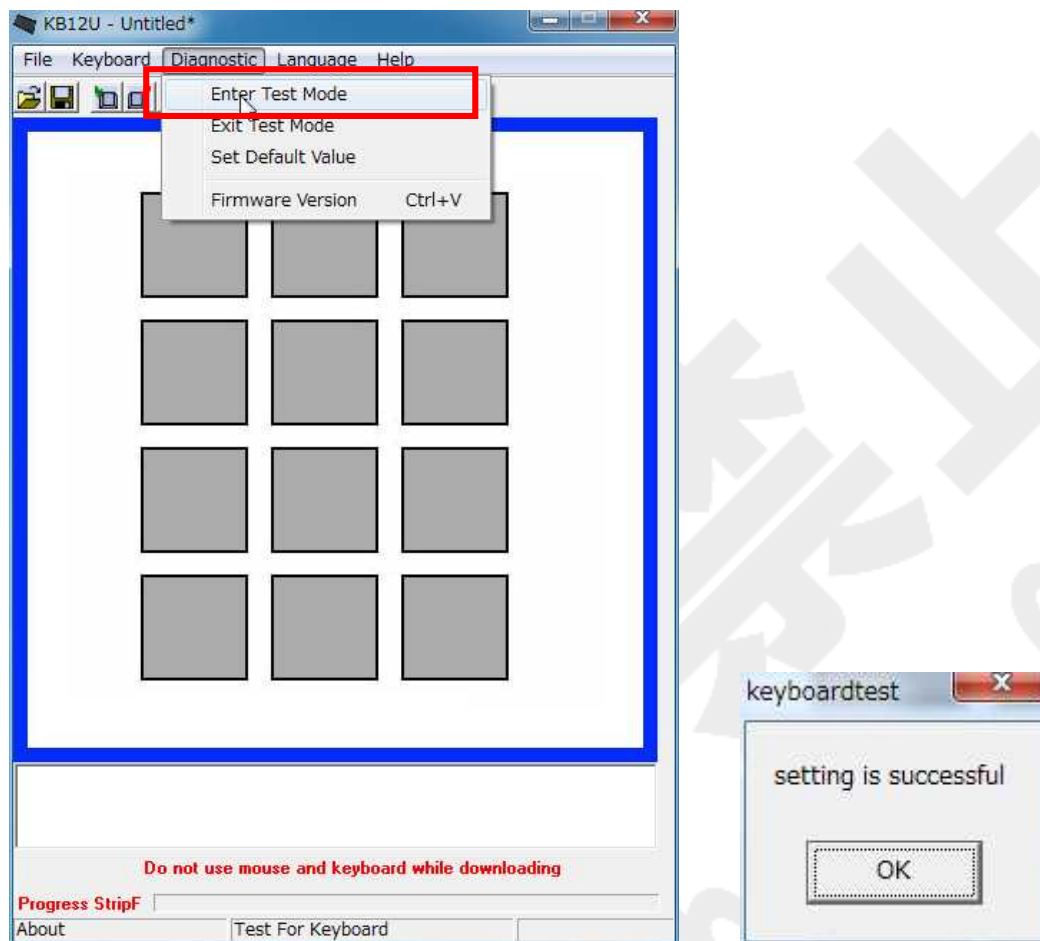
{Keyboard -> Keyboard Setting}を選択すると[Keyboard Setting]画面が表示されます。キーボードのビープ音の有無の設定が行えます。選択をして”Update”ボタンにより変更が反映されます。



Press With Sound	全キーに対してキー押下された場合、ビープ音”ピッ”が鳴ります。
Press Without Sound	全キーに対してキー押下された場合、ビープ音”ピッ”はありません。
Only Programmed Key Beep Enable	キー割当てを行なったキーのみキー押下された場合、ビープ音”ピッ”が鳴ります。

IV -4. Enter Test Mode

{Diagnostic -> Enter Test Mode}を選択し、表示されるダイアログボックス“OK”を押すとキーボードはテストモードとなります。テストモードに入ると、keyboardtest ダイアログが表示されます。



テストモードはキーを押してコードが出力されるか診断をするテストです。テストモード後にキーを押すと各キーに予め割当てられた 16 進数のキーコードがビープ音”ピッ”と共に出力されます。テストモードは {Diagnostic -> Exit Test Mode} より終了できます。

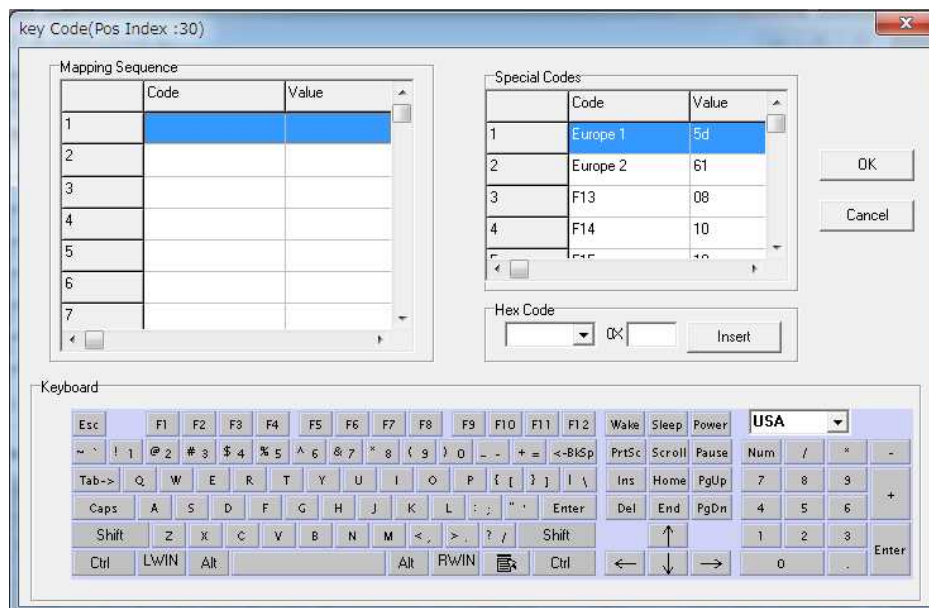


V. 設定画面詳細**V-1. 設定画面メニューバー**

設定画面内のメニューバーの説明と対応するアイコンの一覧です。

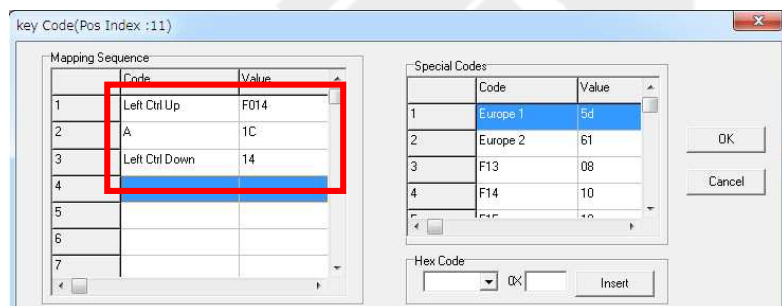
第一レベル	第二レベル	第三レベル	説明	アイコン
File	New	Key Map	新規作成	
	Open		ファイルを開く	
	Save		上書き保存	
	Save As		名前を付けて保存	
	Exit		終了	
Keyboard	Update Whole Keyboard		キーボード全設定を書き込み	
	Update Key Mappings		キーマッピングを書き込み	
	Retrieve Keyboard		キーマッピングの読み出し	
	Clear Current Layer		表示レイヤー設定クリア	
	Clear All		全て設定クリア	
	Keyboard Setting		キーボード設定	
Diagnostic	Enter Test Mode		テストモード開始	
	Exit Test Mode		テストモード終了	
	Set Default Value		出荷時設定に戻す	
	Firmware version		バージョンの確認	
Language	English		英語表記	
	Simplified Chinese		中文表記	
Help	About Matrix Maker		マトリクスメーカーについて	

V-2. Key Code 画面



① Mapping Sequence

割当てしたキーコード値 (Value) が割当てた順に 1 から表示されます。最大 180 値まで登録できます。割当てするキー種類にもよりますが 1 キーあたり約 180 キー程のキー登録が可能です。

!注意!

Shift、Alt、Ctrl キーは通常のキーボードと異なります。これらのキーはキー押下“Down”とキー放し“Up”の 2 つのステータス設定が必要となります。ソフトウェアキーボードでこれらのキーを 1 度クリックすると“Down”、もう 1 度クリックすると“Up”が値として表示されます。“Shift、Alt、Ctrl キーは Down ステータスのままにせず、必ず Up ステータスを設定して閉じて下さい。”

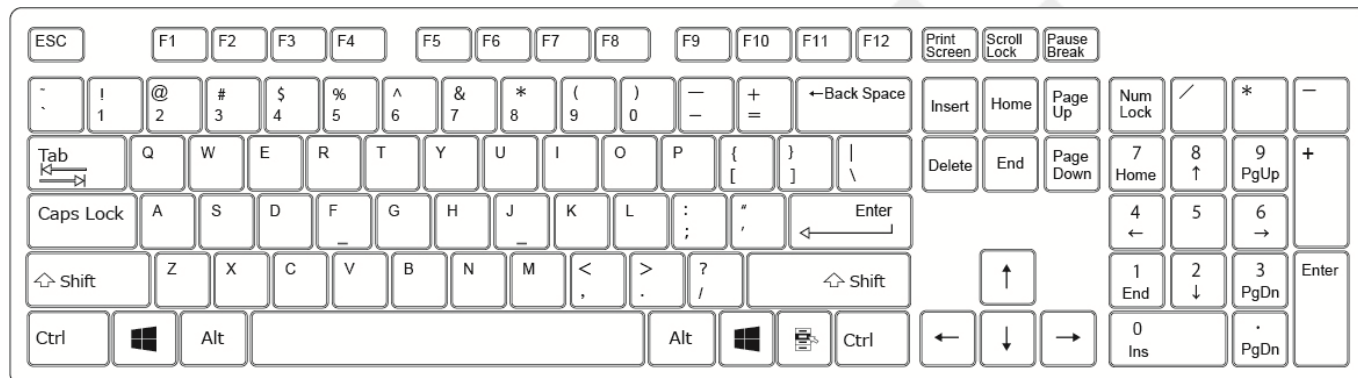
例えばウィンドウズショートカットキー 「すべて選択」 (Ctrl + A) を登録する場合以下のようになります。

左 Ctrl をクリック (Left Ctrl UP) -> A をクリック (A) -> 再度 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)

② Special Codes

Key code 画面で表示されるソフトウェアキーボードは英語 104 キー配列です。日本語配列キーボードにある特有キーは Special Code から登録します。英語 104 キー配列と日本語 109 キー配列の違いは“む”、“ろ”、“無変換”、“変換”、“カタカナ・ひらがな”の 5 キーが無い点です。（日本語 109 キー配列図の赤枠参照）

・ 英語 104 キー配列図



・ 日本語 109 キー配列図



設定ソフトではこれらの 5 キーを以下の様に登録できます。

日本語キー	Key Code Value 値	入力方法
む	5D	Special Codes ” Europe1”
ろ	51	Special Codes ” Ro”
無変換	67	Special Codes ” Muhenkan”
変換	64	Special Codes ” Henkan”
カタカナ・ひらがな	13	Special Codes ” Kata/Hira”

③ Hex Code

設定ソフト上の Keyboard や Special Codes にない値は Hex Code を入力し直接登録できます。Key Code 画面で表示される Value 値は USB HID to PS/2 Scan Code Translation Table 内の“PS/2 Set Make”の値です。

USB HID to PS/2 Scan Code Translation Table

<http://download.microsoft.com/download/1/6/1/161ba512-40e2-4cc9-843a-923143f3456c/translate.pdf>

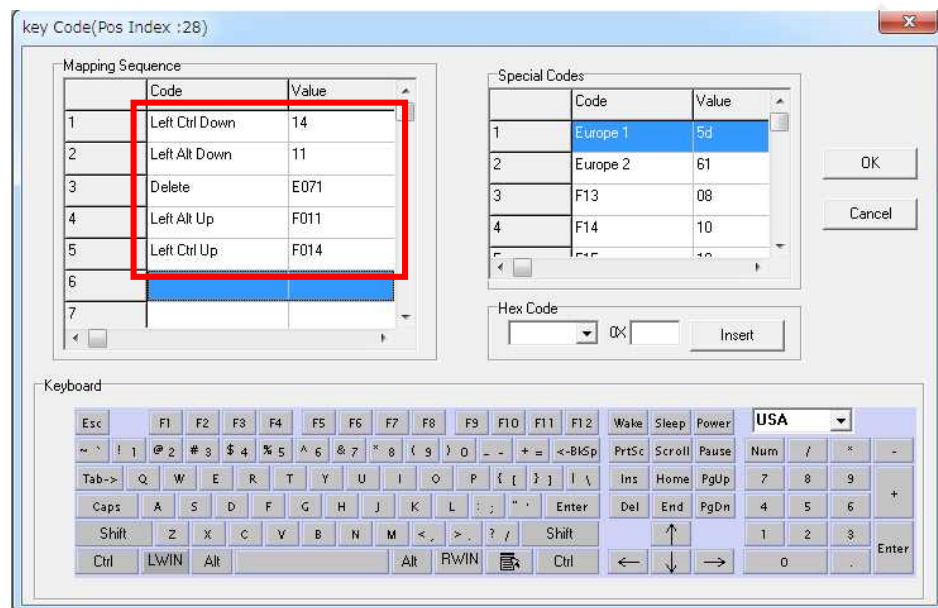
VI. 補足事項・よくある質問

Question:

キーに“Ctrl + Alt + Down”を設定したのですが、上手く動作しません。設定したキーを2回押すと反応したりします。

Answer:

Ctrl、Alt、Shift キーは Down(押下)と Up (放す) の2つのステイタスがあり、組合せキーは必ず Down と Up で閉じる必要があります。例として以下の赤枠が“Ctrl+Alt+Delete”キーの割当てコードになります。



Question:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されている他のキーボードと連動してステイタスが変化しますでしょうか？

Answer:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されているキーボードと連動します。独立して個別のステイタスは保持しません。

Question:

1x2 倍キーを使用したいのですが、使えますでしょうか。

Answer:

1x2 倍キーを取り付ける場合は、別途ご相談下さい。

Question:

プログラマブルキーボードの数字テンキー部分にもキーの割当てはできるのでしょうか？

Answer:

テンキー部分にも他キー同様にキー割当ての設定は行えます。キーボードキーにテンキー文字の印刷はされておりますが、出荷時にテンキー部分を含めて全てのキーにキーコードの割当てはされておられません。

Question:

キーを押しっぱなしにした際にキーを連続して出力するキーリピートは行なえますか？

Answer:

キーボードはキーリピート無しです。設定にてキーリピートの有無選択はできません。

Question:

キーボードのキーを押した時になる“ピッ”音を出すか出さないかの設定は行えますか？

Answer:

キー割当て設定ソフトウェアのメニューバーから “Keyboard -> Keyboard Setting” よりビープ音の設定選択は行なえます。

Question:

キーボードをパソコンに USB 接続した際に”ピー”という音が鳴ります。”ピー”音を消すことはできるのでしょうか？

Answer:

“ピー”音はキーボードに電源が入ったことをお知らせする音です。設定で音を消すことはできません。

Question:

Fn キーを割り当てたい場合はどのように設定すればよいのでしょうか？

Answer:

キーボードのキーに Layer Index キーを割当てることにより、Fn キーと同じように使用することが出来ます。

(例)

- ・左上角のキーにて、Layer Index より「レイヤー1」を設定。
- ・右上角のキーにて、レイヤー0 は「A」を、レイヤー1 は「B」を設定。
- ・右上角のキーだけを押し「A」が表示される。
- ・左上角のキーを押下した状態で右上角のキーを押すと「B」が表示される。

(設定手順は「IV-2. Layer Index」参照)

Ⅶ. 保証事項

Ⅶ-1. 保証期間

- ・保証期間は納品日より1年間とします。但し、外観に関するキズ等による不具合は納品日より1ヶ月とします。
- ・保証期間内に正常な使用状態に於いて故障した場合は製品解析を行い、弊社起因による不良と判断された場合に交換または修理を致します。

Ⅶ-2. 保証対象

- ・保証対象は納入品のみを対象とします。納入品の故障により誘発される損害は対象とされません。また、現地における製品修理・交換は行いません。
- ・納期延滞や不具合による対応はできる限り敏速に対応しますが、生産ラインの保証や損害は致し兼ねます。

Ⅶ-3. 有償保証

- ・保証期間を過ぎた製品は有償での保証と致します。また、以下の場合は保証期間内におきましても有償保証となります。
 - ①取扱不備による落下等の衝撃により生じた故障
 - ②天災、火災により生じた故障
 - ③製品が組み込まれている（または接続されている）他部品や機器に起因して生じた故障
 - ④改造・分解により生じた故障

Ⅶ-4. 仕様変更

- ・キーボードは標準品の為、機能に影響を及ぼさない範囲で事前告知無く仕様を変更する場合がございます。

株式会社ジェイダブルシステム

<http://www.jw-system.co.jp/>